

令和 8 年度 第 5 回豊田市藤岡南地域会議 議事録

開催日時	令和 8 年 8 月 2 5 日（火）	開会	閉会
		1 8 時 5 8 分	2 0 時 2 8 分
会 場	藤岡南交流館 多目的ホール		
出席者	委 員 1 3 名出席（欠席：奥平委員、菊地委員） 藤岡支所 山田支所長、中山副支所長、成瀬担当長、内野主事 山田市議、武田市議、伊藤交流館長		
次 第	1 「豊田市民の誓い」唱和 2 開会 （1）藤岡南地域会議会長あいさつ （2）出席区長紹介 3 議事 藤岡南地区区長会との意見交換 （1）アンケート結果の報告 （2）アンケート結果を踏まえた意見交換 4 報告 委員からの報告（各団体の活動など） 5 事務連絡		

■議事（要約）

第 5 回藤岡南地域会議 定例会

3 議事

藤岡南地区区長会との意見交換

（1）アンケート結果の報告

重松委員から区長会へ報告した。

【結果概要】

第 1 位：地域を支える人づくり・場づくり

第 2 位：災害に備えるまちづくり、安全な交通環境づくり

第 4 位：いつまでも住み続けられるまちづくり

第 5 位：住みよい環境づくり

第 6 位：犯罪に強いまちづくり

第 7 位：誰もがつながり合う絆づくり

第 8 位：地域への愛着・誇りの育成

地域活動を支える人材確保や担い手づくり、災害への備え、交通安全といった、地域の日常生活を支える課題への関心が高い。

（2）アンケート結果を踏まえた意見交換

アンケート結果上位 5 項目について意見交換し、提言等に向けて今期地域会議で検討していく取組項目を 2 つ選出した。選出結果と主な意見は以下のとおり。

【地域会議で今後検討する取組項目】

- ・ 地域を支える人づくり・場づくり
- ・ 災害に備えるまちづくり

【各取組項目に対する意見】

「地域を支える人づくり・場づくり」について

【加藤委員の質問】

現在、市役所や区長会が中心となって、自治区役員などのなり手不足の対策として、負担軽減や役割の見直しなど、協議が進められているようですが、自治区での対策や工夫、見直しなど、取り組んでいることがあったら教えてください。また、地域の祭りや行事など自治区の行事を精査し、一部をコミュニティ単位で開催することで、負担を軽減できるのではないかと考えています。自治区同士の連携など、横のつながりによる地域行事などについては、どのようにお考えでしょうか。

【天毎木区長の回答】

- ・ 近年、定年延長などにより働いている高齢者も多く、自治区役員や民生委員児童委員の担い手が見つからない。自治区役員の負担軽減に対する工夫は現状できていない。
- ・ コミュニティ単位での行事などについては、自治区の伝統を重んじる人もおり、なかなか進んでいない状況。しかし、効率化などの観点から、コミュニティ単位での連携は必要だと思っている。

【永井区長の回答】

- ・ 負担軽減に対する取組は進めている。充て職を減らしたり、行事数を減らしたりするなど、工夫をしている。
- ・ 自治区行事への出席率が高く、広域化までは考えていない。広域化すると、会場までが遠くなる可能性もあり、出席率の低下も懸念される。

【小川区長の回答】

- ・ 各自治区の歴史や伝統があるため、そこは尊重していきたい。
- ・ 自治区間連携により、行事を広域化したところで、主催者側の当番制や役が増えることによる負担増加も考えられる。

「災害に備えるまちづくり」について

【重松委員の質問】

選定した理由や具体的な困りごと欄に「防災に対しての意識が希薄」とありますが、こういった場面や状況からそのように感じられているか教えてください。あわせて、防災意識を高めるため、特にどのような取組が重要であると考えているか教えてください。

【小川区長の回答】

- ・ 防災訓練の参加率が減少している。また、自治区内で防災アンケートを実施したが、備蓄など、災害に対する備えができていない家庭が少ない結果となったことから、意識が希薄化しているのではないかと感じている。

- ・防災訓練の内容変更など、マンネリ化への予防策を検討している。

【天毎木区長の回答】

・防災訓練への参加率が1～2%程度だった。実際に大きな災害を経験していないため、意識が低下しているのかもしれない。他人事とは思わず、日頃から、有事の際は動くべきか想定しておくことはとても重要である。

「安全な交通環境づくり」について

【宮地委員の質問】

国道419号線などの渋滞を避けるため、生活道路に迂回する車両が増え、また、制限速度を守らない車両も多くなっているとのことですが、具体的にどのあたりの道路でそのようなことが起きているのか教えてください。また、迂回車両の多くは地域外の通勤車両が多いと考えられますが、企業などに対して注意喚起や協力要請などの実施状況を教えてください。

【小川区長の回答】

・フェルナの通りから団地内の生活道路を通り抜けていく車が多い。一部はすれ違いが難しい箇所もあるが、スピードを出す車が見受けられる。注意看板も設置しているが、壊されることもあり、目立った効果はない。

・企業等への呼びかけなどはしていないが、今後生活道路の制限速度が30キロに定められるため、様子を見ていきたい。また、自治区単独ではなく、地域全体で働きかけを考えていくべきだと思う。

「いつまでも住み続けられるまちづくり」について

【三宅委員の質問】

アンケートにも記載してありましたとおり、少子高齢化により、地域の高齢者の人口は増加傾向にあります。一方、高齢者クラブやサークル活動への参加者が減っていると伺っています。その理由には、移動手段、体力面、時間の都合、人間関係など、参加を妨げる要因としてどのようなものがあると考えられるのでしょうか。

【吉ヶ別符区長の回答】

・サークルやクラブ活動など、大人数での交流に苦手意識がある人は当然いる。また、各々で趣味があり、既に構築されているコミュニティに属している人もいるため、新しくクラブ活動などに参加するのは気が引ける人も増えているのではないかなと思う。スマートフォンの普及により、自宅で繋がれる環境もできていることも、高齢者クラブへの参加者が減っている要因ではないか。

「住みよい環境づくり」について

【中島委員の質問】

ごみ出しの立会いを、自治区でどのように取り組んでいますか。また、取組の中で分別ルール徹底などについて、工夫している点や課題などがありましたら教えてください。

い。

【中村区長の回答】

・ゴミステーションが32箇所あるが、各組で立ち合いをしてもらい、対策をしている。しかし、缶や瓶を燃えるゴミに隠して捨てるなど、分別が守られないケースがある。また、通勤途中で、自治区外の人が出していくケースがある。

【福田区長の回答】

・特に問題はない。
・ゴミステーションの看板やネットが老朽化していたら、気づいた方がLINEで知らせてくれる。

【天毎木区長の回答】

・ルール違反が目立つゴミステーションに、警告看板（「このまま違反が繰り返されれば、ステーションを撤去する」といった内容）を設置したところ、マナーが向上した。
・3～4月の引越シーズンになると、転入者でルールを把握していない人や、転出に伴いゴミを分別せず、まとめて出す人が増える傾向にある。

【今後の開催予定】

第6回地域会議（9月30日（火）午後7時から藤岡南交流館 多目的ホール）